昭和52年7月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話4111番㊞・〒754—12

印刷　阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

№.308

町の住民登録人口
（52年6月30日現在）　前月比
世帯　2,142世帯　0
人口　8.255人　−7
（男3.902人　女4.353人）
（国勢調査　昭和50年10月1日
世帯　2.113世帯
人口　8.137人
男3.771人　女4.366人

「見る」より「参加」をめざそう

県下がスポーツ総参加運動を進める

スポーツに親しみ、健康で明るい活力に満ちた生活をすることはしあわせにつながります。

このため県では、いつでも、どこでもだれでも気軽にスポーツに参加でき、個人の健康と人間関係づくりをめざすために、県民スポーツ総参加運動を展開することになりました。

本町もこれに合わせて、推進委員を設置し、「見るスポーツ」から自主的に「参加するスポーツ」への普及をめざしています。

運動不足が六〇%

明るく健康な生活は、自らが健康管理意識をもって、健全な身体と精神の保持増進に努めることが大切です。

このようなことから、やりたいス

目標をもってのびのびと
—夏休みの過ごし方—

小・中学生にとっての一番の楽しみが、夏休みであることは、昔も今も変わりがありません。しかし、四十二日間という長い夏休みも、八月の下旬になると、とても短く感じられるものです。"今年こそは"と意気込みながらも、計画したことが実行できず、後悔することが少なくありません。

小・中学生のおられる家庭では、今年の夏休みを楽しく、意義あるものにするため、家族みんなで夏休みの過ごし方について考えてみて下さい。

遊びも大事

規則正しく、また、束縛されることも、忘れてはならないことです。特に次の二点を重視すべきではないでしょうか。

・友達との戸外での遊び

・中学校の部活動

という勤功をそなわったので白松村飛石の千歳地三町を見立てて勤功開作を願い出た。藩府は地主功もないことから開立を認め、元禄十四年に開作地三町、石高五十五石二斗の石盛をみた。開高五十五石二斗はそのまま持高への加増が認められて一挙に六十石余の知行高を与え、無給通から大組の臣となった。

▽赤川六兵衛開作　同家は大組の臣で知行高五十二石を与えられていた。八郎兵衛守義の真享四年に至り、勤功開作地一町を拝領した。このうち七町四反を自松に見立て開作を進めたが、宝永三年に本艘においやっとの開立をみた。残りの開作地は、勤功開作が分与を認められていたこともあって、寛保元年に一町を杉小輔九郎へ、九反十歩を赤川玄悦へ分与し、六兵衛守政（正徳二年寄帳）の代に、二町を美祢郡厚保村において六兵衛の次男幾之助へ分与し、石四斗の禄を与えられた。元禄二年に至り、寛文以来の地下役所勤務したことから抜万弐人切米弐拾石四斗の禄を与えられた。幾之助はこの時、横山新之丞家へ養子として入っている。

勉強には集中力を

多くの学習時間を確保することができますが、あまり時間にこだわりすぎると、だらだらした勉強となり、逆効果になります。勉強は、集中力です。そのためには、無言の対話の積み重ねが大事です。親子の対話は、日頃からの有言、無言の対話の積み重ねがなくてはできないことです。子供達の行動について、次の二点には特に気をつけて下さい。

・お金のつかい方

・家庭外での活動する場

健康第一

気のゆるみから、体調を狂すことも少なくありません。健康に気をつけるというだけでなく、健康をつくるという積極的な気持が望まれます。また、病気の予防以外に、事故の防止に万全の注意がなければ、非行に走ることの多いのも見逃がせません。十分な注意も必要ですが、過保護が非行を生むことにもなりかねません。子供を信頼しようという優しさと、子供を守り、育てるという厳しさとの調和が大事です。さらに一家庭の問題としてではなく、地域の問題として、お互いに連絡し合うことが必要です。そのためにも、親子の対話が不可欠となります。

感謝と奉仕を

子供達を町民の一人です。町の各種の行事に積極的に参加させて下さい。社会生活が、人々の助け合いと協力によって成り立っている事実を知らせ、すすんで感謝の気持で奉仕活動などにも、取り組ませたいものです。

学校と連絡を

勉強について、性格や行動について少しでも問題を感じられたら早目に、担任の先生と相談することが望まれます。直接電話するか日直の先生に連絡する方法があります。また、特別に問題を感じなくても、子供達のことについて気楽に相談するように、日頃からも努めたいものです。

（阿知須中学校教諭・生徒指導担当・中村浩司）

室町史編さん室だより ⑮

近世の開作
—家来拝領開作—

開作はその形態によって藩営開作・家来拝領開作・百姓自力開作に分けられる。

このうち家来拝領開作は、家臣に開作権を与えられ、築立てたものをいう。以下、阿知須における拝領開作について述べてみよう。

▽小野新右衛門開作　小野家が毛利に取立てられたのは、新右衛門朝久の代であった。以来、寛文九元年に一町を杉小輔九郎へ、九反十歩を赤川玄悦へ分与し、六兵衛守政（正徳二年寄帳）の代に二町を美祢郡厚保村において六兵衛の次男幾之助へ分与し、石四斗の禄を与えられた。元禄二年に至り、寛文以来の地下役所勤務したことから抜万弐人切米弐拾石四斗の禄を与えられた。幾之助はこの時、横山新之丞家へ養子として入っている。

解放感が過度になり、非行に走ることの多いのも見逃がせません。十分な注意も必要ですが、過保護が非行を生むことにもなりかねません。子供を信頼しようという優しさと、子供を守り、育てるという厳しさとの調和が大事です。さらに一家庭の問題としてではなく、地域の問題として、お互いに連絡し合うことが必要です。そのためにも、親子の対話が不可欠となります。親子の対話は、日頃からの有言、無言の対話の積み重ねがなくてはできないことです。子供達の行動について、次の二点には特に気をつけて下さい。

・お金のつかい方

・家庭外での活動する場

健康第一

気のゆるみから、体調を狂すことも少なくありません。健康に気をつけるというだけでなく、健康をつくるという積極的な気持が望まれます。また、病気の予防以外に、事故の防止に万全の注意がなければ、非行に走ることの多いのも見逃がせません。十分な注意も必要ですが、過保護が非行を生むことにもなりかねません。子供を信頼しようという優しさと、子供を守り、育てるという厳しさとの調和が大事です。さらに一家庭の問題としてではなく、地域の問題として、お互いに連絡し合うことが必要です。そのためにも、親子の対話が不可欠となります。親子の対話は、日頃からの有言、無言の対話の積み重ねがなくてはできないことです。子供達の行動について、次の二点には特に気をつけて下さい。

・お金のつかい方

・家庭外での活動する場

感謝と奉仕を

子供達を町民の一人です。町の各種の行事に積極的に参加させて下さい。社会生活が、人々の助け合いと協力によって成り立っている事実を知らせ、すすんで感謝の気持で奉仕活動などにも、取り組ませたいものです。

学校と連絡を

勉強について、性格や行動について少しでも問題を感じられたら早目に、担任の先生と相談することが望まれます。直接電話するか日直の先生に連絡する方法があります。また、特別に問題を感じなくても、子供達のことについて気楽に相談するように、日頃からも努めたいものです。

（阿知須中学校教諭・生徒指導担当・中村浩司）

やさしい心の結びつき
国旗掲揚、あいさつ、ごみ拾い
県教育会　三つの実行運動を提唱

「国旗をたてよう」「あいさつをしよう」「ごみをひらおう」…いまや県民運動として、県教育会の提唱で早速、実行してみませんか…教育会ではこの輪を広げようとしています。

山口県は長い間つちかわれた教育風土があります。それが、こわされようとしているため、教育環境をすすがしいものにしようというのがねらいです。

①国旗をたてることによってみんなの心を国に結ぼう

②あいさつすることによってみんながあたたかい心の輪をひろう

③ごみをひらうことは小さな奉仕の精神をも養う

ことを積み重ねることに通じるというわけです。心と心の結びつき、やさしい心づかいが人々を犯罪から非行から守り、私心を忘れることを感謝します。

◆…去年、丸塚古墳発掘調査をしてから約一年、そこから掘り出された土器の破片をつなぎ合わせたら当時の土器が復元されましたそれらを、庁舎の玄関ホールに陳列しています。郷土を知るためにもぜひごらんいただきたいと願っております。

◆…健康…それは私たちの幸せの第一条件です。健全な肉体に健全な精神が宿るともいわれています。スポーツに参加することにより、丈夫な身体をつくり、明るい心をもった種目を選んで、スポーツに励んでいます。

◆…山口銀行阿知須支店から新築記念として「バベ」の本一本の寄贈を受け、庁舎北側に植えました。若山産業からは同社三十周年記念として、町の図書館に「日本古典文学大系」＝岩波書店＝百冊を贈呈されました。町内もろくごらんいただきたいと願っております。

◆…健康…それは私たちの幸せの第一条件です。健全な肉体に健全な精神が宿るともいわれています。スポーツに参加することにより、丈夫な身体をつくり、明るい心をもった種目を選んで、スポーツに励んでいます。

◆…山口銀行阿知須支店から新築記念として「バベ」の本一本の寄贈を受け、庁舎北側に植えました。若山産業からは同社三十周年記念として、町の図書館に「日本古典文学大系」＝岩波書店＝百冊を贈呈されました。町内もろくごらんいただきたいと願っております。

郡代表に阿中の網田誠くん
今年の健康優良児

本町のこどもの健康優良児がきまりました。

県教育委員会が毎年行う選考会の予選となるものです。小中学校から男女一名ずつの候補の中から郡代表に網田誠くん（阿中）が選ばれ、吉佐管内の選考会に進むことになりました。

また、阿知須小学校が大規模学校の健康優良校に選ばれ、学校保健体育の表彰がうかがえます。

本町代表つぎのとおり。

①身長②体重③胸囲④座高

（阿知須小）

村岡康浩＝①一四五・一②三六・三③六九・二④八〇・一

網田淳香＝一四八・九②三九・八③七二・五④八〇・六

（井関小）

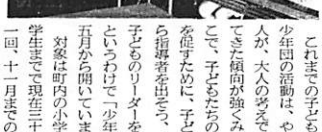
浜本　孝＝①一四八・二②三八・③七〇・三④七九・九

子どものグループリーダーを養成
少年教育講座で特別中

子どものグループ活動は子ども委員会でにおけるリーダー「指導者」と町教育委員会では、いま子どものリーダーを養成中です。

これまで子ども会やスポーツ少年団の活動は、ややもすれば大人が、大人の考えで指導、指示してきた傾向が強くみられます。そこで、子どもたちの自主的な活動を促すために、子どもたちの中から指導者を育てよう、そのためには子どものリーダーを育てていこうというわけで「少年教育講座」を五月から開いています。

対象は町内の小学校四年から中学生までで現在三十名あまりが月一回、十一月までの講座に参加



（写真は講師の話に熱心に聞きいる受講生）

◇　◇　◇

内容は「レクリーエーション指導のすすめ方」「話しあいのすすめ方」「リーダーの役割り」「広報活動のあり方」など高度の内容を含むほどになって、自主的へ導くプログラム内容となっています。

そのほか、主体的に学習をすすめるため、会場係、進行、記録係などが設けられ、仲間と協力して主体的、創造的にとりくむよう指導しています。

役場の窓

◆…山口銀行阿知須支店から新築記念として「バベ」の本一本の寄贈を受け、庁舎北側に植えました。若山産業からは同社三十周年記念として、町の図書館に「日本古典文学大系」＝岩波書店＝百冊を贈呈されました。町内もろくごらんいただきたいと願っております。

◆…健康…それは私たちの幸せの第一条件です。健全な肉体に健全な精神が宿るともいわれています。スポーツに参加することにより、丈夫な身体をつくり、明るい心をもった種目を選んで、スポーツに励んでいます。

子ども相撲は旦岡チームが優勝
十七夜祭の行事賑わう

今年の十七夜祭は六月四日、にぎやかに行われ、町内、近郷から見物客が繰り出しました。

雨にたたられた昨年とちがい、晴天にめぐまれ、山車は小古郷区神役は砂郷区が担当、また、催し物も近郷柔剣道大会、小学生相撲大会、さつき・盆栽展、夜は花火大会などで阿知須浦は一日中賑わいました。

近郷柔剣道大会の参加は実道二十四、剣道二十四チーム、また、子どもすもう大会は町内から十三チームが参加、上位成績はつぎのとおりです。

〔柔道〕▽中学校①上宇部④川西▽高校①宇部高A②同B▽一般①県警A②山口刑務所

〔剣道〕▽小学校①佐山A②阿知須A▽中学校①神原A②佐山B③A▽高校女子①宇部商A②山陽▽高校男子①商川A②山高A▽一般①阿知須剣友会②セントラル硝子

出席しています。

文化勲章受賞の広中さんが講演
山口県教育財団は郷土の生んだ歴代最年少の文化勲章受賞者広中平祐氏を招いて「現代の教育を考える」と題して講演を開きます。

会場は山口市民館、日時は七月二十四日（日）午前十時から十二時まで。多数の聴講を望んでいます。

うまい話にご用心
「ねずみ講」で各地に被害

最近「ねずみ講」の活動が著しく、被害が全国的に発生しており、これら危険性等について国や県はうまい話の正体を見破りましょう泣く前に良く考えよ―「ころばぬ先の杖」が大切です。

ねずみ講の特徴は①加入すると一定金額を講の本部や先輩会員に送金するよう指示される②最低二名の新会員の勧誘・加入が義務づけられる③加入した分の子会員が、さらに孫会員を勧誘する。

こうして次々に会員がふえればその会費があなたにもらえると誘いかけますが、つまるところは、多数の人々は必ず損をするしくみになっています。被害者は同時に加害者となるわけです。この世の中に、うまい話はそうそうあるものではありません。送金して、二度と出てきません。

慶弔録

出　生（おすこやかに）

父　綾柄　子の名　月日　部落

平川浩三　恵美子（北野）且北

大下薫明　二女　五月5・24恵須

藤竹道夫　二男　栄二5・31前山

野村泰夫　二男　緑6・1野口

西田　巧　長男　智志6・9鯛北

下野勝則　長女　朋子6・17飛石

大沢晴昌　長男　健二6・20東

重村　宏　長女　綾6・21且北

村長利夫　長女　涼子6・25仙在

婚　姻（おしあわせに）

氏名　月日　年令　部落

秋山　カメ　5・31　85　小南

山田ハツノ　6・7　79　北祝

西村　馬吉　6・8　74　東

鯛谷　京子　6・17　18　恵比須

古川　朝一　6・28　82　浜表

死　亡（ご冥福を祈ります）

氏名　月日　年令　部落

西村唯人　宇部市東岐波

（村田）小東

北九州市戸畑区

（岩田）神の原

大津郡油谷町

（北野）且北

門松

（豊庄）宇部市

大分県佐賀関町

（村田）東

島根県平田市

由美子（辻岡）鯛北

宇部市

和江（竹本）浜

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

砂三　藤永ミツノ

十七夜まつりの鉢巻いせいよく松前音頭にあわせ山車曳く

浜　正司

ウメノ動頭を背負いて防除してゆく夕日に映えて紅となりゆく

小東　松尾　君代

吾が店にコップ酒のむ客の声聞きつつわれは刊を読む

小西　平海アサノ

川尻に一つ歩ゆめる白鷺の真が足音にはばたきゆきぬ

小西　藤重アヤ子

病院にS先生を見舞えばほのかにランの香り漂よう

砂一　松代　二郎

吾と妻を撮る息子と顔ゆがめメガネかまえる二重橋前

砂三　渡辺　宵子

平釜に六百人の飯炊く音かめでてガスの火を切る

砂三　桜井　文子

草むらに潜みし子亀との上げる手のぬくもりに薄き川だす

北祝　原田　双恵

天草を取る海女さんがたむろして禁火をかこみ引き潮をまつ

浜　石田サダ子

五月雨のしぶける中を手作りの菓子持ちて敬会に行きぬ

岩西　中本　幸枝

雨やみて明るき夕べ咲き匂ふ鉄砲百合にたき夫想ふ

一升ビンに入れし海水をあさりに添へ砂吐かし貰へよと持ち賜りた

源河　村井　薫

遠蛙きき夜更け寝ねず盗読みてあの体の冷え給孝よろこびて

飛石　藤重　幾代